

中小企業の経営支援および地域の活性化のための取組み状況について

① 中小企業の経営支援に関する取組み方針

地域の中小企業や小規模事業者の皆さまへの安定した資金供給は、営業地域が限定された協同組織金融機関である当金庫にとって最も重要な社会的使命です。

中小企業金融円滑化法は平成25年3月31日に期限が到来しましたが、当金庫は、お客さまからの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みに対して、それまでと同様、お客さまの抱えている問題を十分に把握し、地域の皆さまへの経営支援、金融の円滑化に真摯に取り組んでまいります。

② 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

- 滋賀県産業支援プラザ・滋賀県中小企業再生支援協議会との連携
- 経営改善支援センターとの連携 …………… 経営改善計画策定支援事業
- 滋賀県信用保証協会との連携 …………… 経営サポート会議、経営診断
- 事業性評価などへの取組み …………… ローカルベンチマークの活用
- 金融円滑化への対応 …………… 貸出金の条件変更対応
- 商工会・商工会議所等各種支援機関との連携
- 滋賀県よろず支援拠点

③ 中小企業の経営支援に関する取組み状況

- a 創業新規事業開拓支援実績 …………… 取組件数 12件 金額 63百万円
- b 経営改善・事業再生・業種転換支援実績 …………… 経営改善計画策定数 47先 策定予定 2先
- c 経営者保証に関するガイドラインの活用状況 …………… 新規無保証融資数 894件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資割合 32.9%
保証契約解除数 6件
- d 新型コロナウイルス対応資金実績 …………… 取組件数 1,231件 金額 16,501百万円

④ 金融仲介の取組みについて

当金庫は、地域の中小企業や小規模事業者の皆さまのライフステージに応じた積極的な支援を行うなど、金融仲介機能の発揮に取り組んでいます。平成28年9月に金融庁より、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を表す指標として「金融仲介機能のベンチマーク」(以下、ベンチマーク)が公表されました。

当金庫は、経営理念、経営方針等を基にベンチマークの一部を選択して、当金庫の取組みに対する自己点検および評価に活用しております。今後とも、地域金融機関の使命として、地域活性化を目指し、金融仲介の取組みに努めてまいります。

当金庫の令和2年度の金融仲介の取組みの状況は、以下のとおりとなっております。

■取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

貸付条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況

	条件変更先数	計画達成率		
		120%超	80~120%	80%未満
令和元年度	119先	13先	13先	93先
令和2年度	105先	10先	5先	90先

当金庫が関与した創業件数

令和元年度	19件
令和2年度	12件

ライフステージ別の与信先数、融資残高

	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
令和2年3月末	87先 31億円	142先 46億円	885先 227億円	69先 22億円	123先 55億円
令和3年3月末	107先 42億円	191先 55億円	1096先 362億円	91先 19億円	130先 51億円

ライフステージの定義

創業期：創業から5年までの先
 成長期：売上平均直近2期が過去5期の120%超の先
 安定期：売上平均直近2期が過去5期の120~80%の先
 低迷期：売上平均直近2期が過去5期の80%未満の先
 再生期：貸付条件の変更または延滞がある先

■事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に依存しない融資

経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合

	全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①
令和2年3月末	1,563先	168先	10.7%
令和3年3月末	1,782先	447先	25.1%

■本業（企業価値向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

創業支援先数

	創業計画の策定支援	創業期の取引先への融資	政府系金融機関や創業支援機関の紹介	ベンチャー企業への助成金融資投資
令和元年度	19先	19先	5先	0先
令和2年度	12先	12先	4先	0先

経営改善・事業再生支援先における実抜計画策定先数および同計画策定先の達成先の割合

	実抜計画※策定先数①	達成先数②	②/①
令和2年3月末	65先	26先	40.0%
令和3年3月末	47先	15先	31.9%

※実抜計画とは実現性の高い抜本的な経営再建計画をいいます。

経営改善支援の取組み実績【令和2年度】

(単位:先数)

		期初債務者数	うち経営改善支援取組み先	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	αのうち再生計画を策定している全ての先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率
				β	γ	δ			
		A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
要 注 意 先	正常先 ①	1,393	0		0	0	0.0%		0.0%
	うちその他要注意先 ②	535	17	0	13	14	3.2%	0.0%	82.4%
	うち要管理先 ③	13	2	0	1	1	15.4%	0.0%	50.0%
	破綻懸念先 ④	42	6	0	5	5	14.3%	0.0%	83.3%
	実質破綻先 ⑤	15	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
	破綻先 ⑥	8	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
小計 (②~⑥の計)		613	25	0	19	20	4.1%	0.0%	80.0%
合計		2,006	25	0	19	20	1.2%	0.0%	80.0%

(注)・ 期初債務者数及び債務者区分は令和2年4月当初時点で整理しています。
 ・ 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含めていません。
 ・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で途中で完済した債務者はαに含めるもののβに含めていません。
 ・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めています。

・ 期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
 ・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
 ・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 ・ みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
 ・ 「再生計画を策定している全ての先数δ」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」